**算数学習指導略案**

１　校種・学年　小学校・高学年

２　本時の目標

・プロ野球の球団のある各都道府県の10歳から14歳までのスポーツ人口を調べてグラフで表し、

そのデータから、地方の現状を読み取る。

　　・グラフで表すことのわかりやすさや良さに気付く。

　　・気づいたことをみんなにわかりやすく発表する。

　 ＜本時の展開＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **児童の学習活動** | **指導上の留意点** | **備考** |
| 導入 | プロ野球の球団のある都道府県を思い起こす。 | 日本の地理も想起させる。  プロ野球の球団が北端の北海道にはあるが、南端の沖縄県にはないことに気づかせる。 |  |
| 展開 | プロ野球の球団のある各都道府県の10歳から14歳までのスポーツ人口をインターネット等で調べる。  班活動  インターネット等  横向きの棒グラフに表す。  各都道府県の傾向・気づいたことを発表する  スポーツをしている人の合計を計算する。 | 沖縄県も加える。  データ収集の方法、グラフ化の例を提示する。  班活動を通じ、協力しながら調べていくように助言する。  各都道府県のトップ３は、発表させる。  ○広島では、野球をしている人が多い。  ○水泳をしている人が多い県が多い。  ○大阪はボウリング・サッカーをしている人が多い。  スポーツをしている人の合計と総数が何故違うのか気づかなければ質問を投げかける。 | 調べる項目  ・スポーツ種目  ・スポーツに取り組んでいる人の総数  ※１人で複数のスポーツをしている人もいる。 |
| まとめ | その結果について考察し発表する | ○都道府県によって、人気のある  スポーツが違う。  ○違うことや差の大きさが、グラフに表すことでよくわかる。 |  |























